



Keio Senior High School

School Guide



慶應義塾高等学校



未来の自分のために ―正統・異端・協育―

慶應義塾高等学校（塾高）はいま、「日吉協育モデル／正統と異端の協育」と名付けた独自の教育を展開しています。「正統」は高校生として当然に身に付けるべき知性・体力・モラル、「異端」はそこから磨き高められる傑出した個性や能力を意味します。大地に立つ一本の大きな樹をイメージしてください。「正統」はその太い幹と地中深く広がる根、「異端」はそこに咲く花であり、果実です。最初は小さな若木でも、やがてはどんな風雨にも負けない大樹になるでしょう。

私たちは、ここで学ぶ生徒の柔らかな知性や感性にたくさんの種を蒔きたいと考えています。そのために多種多様な「協育プログラム」を用意しています。「協育」、それは大学や同窓会、企業など、多くの人たちと協力しながら未来のリーダーを育てる試みです。大学のキャンパスにある強みを最大限に活かしています。

ここに一枚の写真があります。万延元（1860）年、福澤諭吉は幕府の遣米使節の一員としてサンフランシスコに行きました。咸臨丸という小さな蒸気船で太平洋を渡る冒険でした。ふらりと立ち寄った写真屋で、店の娘さんと撮ったものです。時は幕末、日本は開国と攘夷の間で揺れています。彼の腰には刀がありません。武士の魂である刀をはずし、異国の女性と写真を撮る、それは驚くべき行為だったはずです。このとき彼は25歳、まだ何者でもありません。しかしここには、のちに「福澤諭吉」になる芽吹きがはっきりと見て取れます。彼は日本の近代化をリードする思想家・教育者になっていくのです。

福澤がアメリカの旅で学んだのは、近代社会を成り立たせる仕組みや考え方でした。それは見たこともない世界でした。写真の中の二人は対等な関係で並んでいます。独立した個人によって形成される近代市民社会の本質がここに 있습니다。刀をはずすのは勇気がいることです。しかしそのことによって初めて、心に自由が生まれます。腕を組んでじっと見つめるまなざしの先には、どんな未来の風景が映っていたのでしょうか。

塾高は大きな学校です。自由でおおらかな気風の中で、自分自身の可能性にじっくりと向き合うことができます。刺激に満ちた学びを通して、次々に出会う新しい世界に好奇心を広げ、未来の自分を夢見てください。福澤諭吉がそうであったように、若木はやがて大樹になり、大輪の花を咲かせます。大事なことは、どんな風雨にも耐える独立した一本の強い木に育つこと、古い慣習にとらわれない自由な心を持つこと、それが私たちの教育の目的であり、理想です。

校長 阿久澤 武史



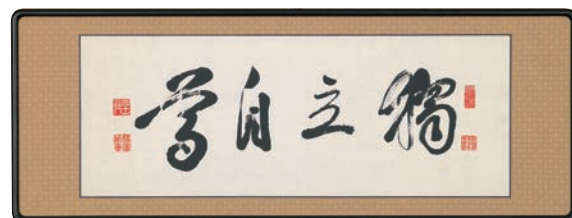
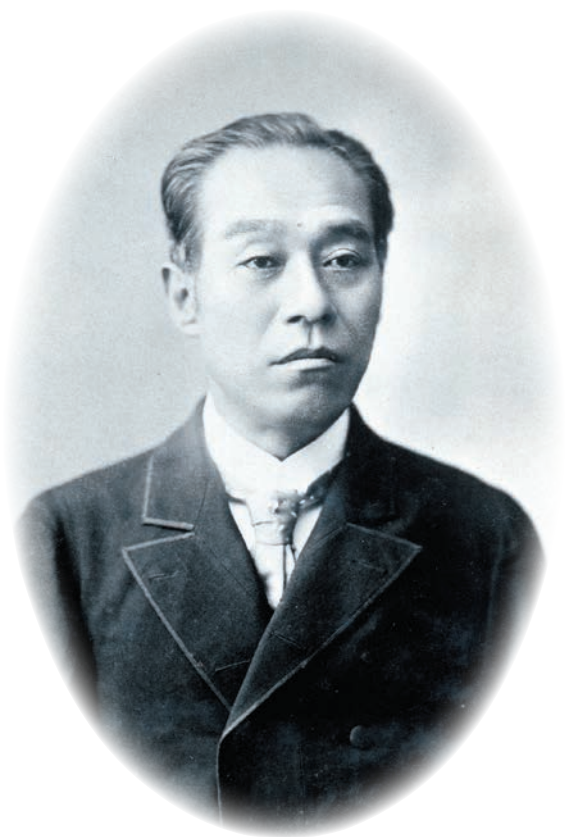
- 01 校長挨拶
- 03 慶應義塾の理念／沿革
- 05 施設紹介
- 07 カリキュラム／授業紹介
- 08 国際交流／日吉協育モデル
- 09 年間行事
- 11 クラブ活動
- 13 慶應義塾大学 日吉キャンパス

For the Leaders of the Future

未来の先導者がここで育つ

慶應義塾の理念

Philosophy



慶應義塾は単に一所の学塾として自ら甘んずるを得ず、その目的は、わが日本国中における気品の源泉、智徳の模範たらんことを期し、これを實際にしては居家、処世、立国の本旨を明らかにして、これを口にいうのみにあらず、躬行実践、もって全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤 諭吉

※居家＝家庭をおさめてゆくこと。

※処世＝世間で暮らしを立ててゆくこと。

※立国＝国の独立をたもつこと。

※本旨＝本来の趣旨。

※躬行＝口で言う通りを、みずから実際に行うこと。

本校の沿革と教育目標

History and Mission

慶應義塾高等学校は慶應義塾第一高等学校、第二高等学校の名称で1948年(昭和23)に設立されました。翌年に両校を統合して慶應義塾高等学校と改称し、その秋、米軍に接収されていた日吉の旧大学予科校舎が返還された際に移転し、現在に至っています。

生徒総数約2,200名、各学年18学級からなる男子校で、人材の豊富さと個性の多様性が特徴です。福澤精神に則り、独立自尊の気風にとみ、自主性と気品を重んじ、将来「全社会の先導者」となる人材の育成を教育の目的としています。

沿革

History

- 1858年 福澤諭吉、蘭学塾を創始。
- 1868年 慶應義塾と命名。
- 1898年5月 一貫教育制度への学制改革。
大学科(後に大学部と改称、5年)・普通学科(後に普通部と改称、5年)・幼稚舎(6年)の体制へ。
- 1934年5月 大学予科(医学部を除く新1年生)が日吉に移転し、第1校舎にて授業を開始。
- 1945年 アメリカ軍により日吉構内の施設が接収される。
- 1948年 「慶應義塾第一高等学校・第二高等学校」が発足。
前年に公布された学校教育法に基づき、
新制高等学校として「慶應義塾第一高等学校・第二高等学校」が発足。
三ノ橋校舎にて授業を開始。
- 1949年 「第一高等学校・第二高等学校」の名称を廃止し、「慶應義塾高等学校」となる。
同時に三田山上を本校舎、三ノ橋校舎を分教場とした。アメリカ軍より日吉返還される。
アメリカ軍より返還された日吉へ移転。授業を開始。
- 1950年11月 自治会・文連・体連の共催で第1回日吉祭を開催。
- 1951年3月 自治会がすべての任務を終了し、新たに生徒会として発足。
- 1951年4月 生徒会が第1回学園評議会を開催。
- 1952年5月 日吉の陸上競技場で第1回陸上運動会を開催。
- 1952年9月 全校で学校行事としての修学旅行に出発。
3年生は北海道、2年生は裏磐梯、1年生は草津の各方面へ。
- 1958年 完成した日吉記念館で慶應義塾創立100年記念式典開催。
日吉祭実行委員会主催で初の関東高校学生招待会議を開催。
- 1963年 日吉会堂が完成。名称は教職員・生徒からの公募で決定。
- 1970年5月 特別教育棟(現A棟)が完成。
- 1984年3月 新棟(現B棟)・地下体育館完成。
- 1999年2月 従来各学年で行われていた修学旅行をやめ、選択旅行形式に改められた。
- 1999年5月 1年生の修学旅行が親睦旅行へと改められた。
- 2003年1月 新たに推薦入学試験(募集人員約40名)が制度化され実施された。
- 2005年4月 3年生による卒業研究論文の提出が必修化された。
- 2008年 慶應義塾創立150年記念式典を開催。
慶應義塾高等学校創立60年記念式典を開催。
- 2009年4月 南側グラウンド全面人工芝化。
- 2009年11月 壘谷体育館竣工。
- 2010年4月 多目的コート供用開始。
- 2018年 高等学校開設70年。
日吉協育棟完成。

1858



1868



1904



1934



1949



2008





施設紹介

Facilities

高等学校の施設は、すべて慶應義塾大学日吉キャンパス内にあります。第一校舎は1934年に竣工した歴史的建造物で、各学年18クラスのHR教室が各階に配置されています。日吉協育棟は2018年に完成した新しい建物で、ホール、図書室、トレーニングルームなどが配置されています。また、南側グラウンドや体育館など体育施設も充実した環境で、生徒たちは日々の活動に励んでいます。

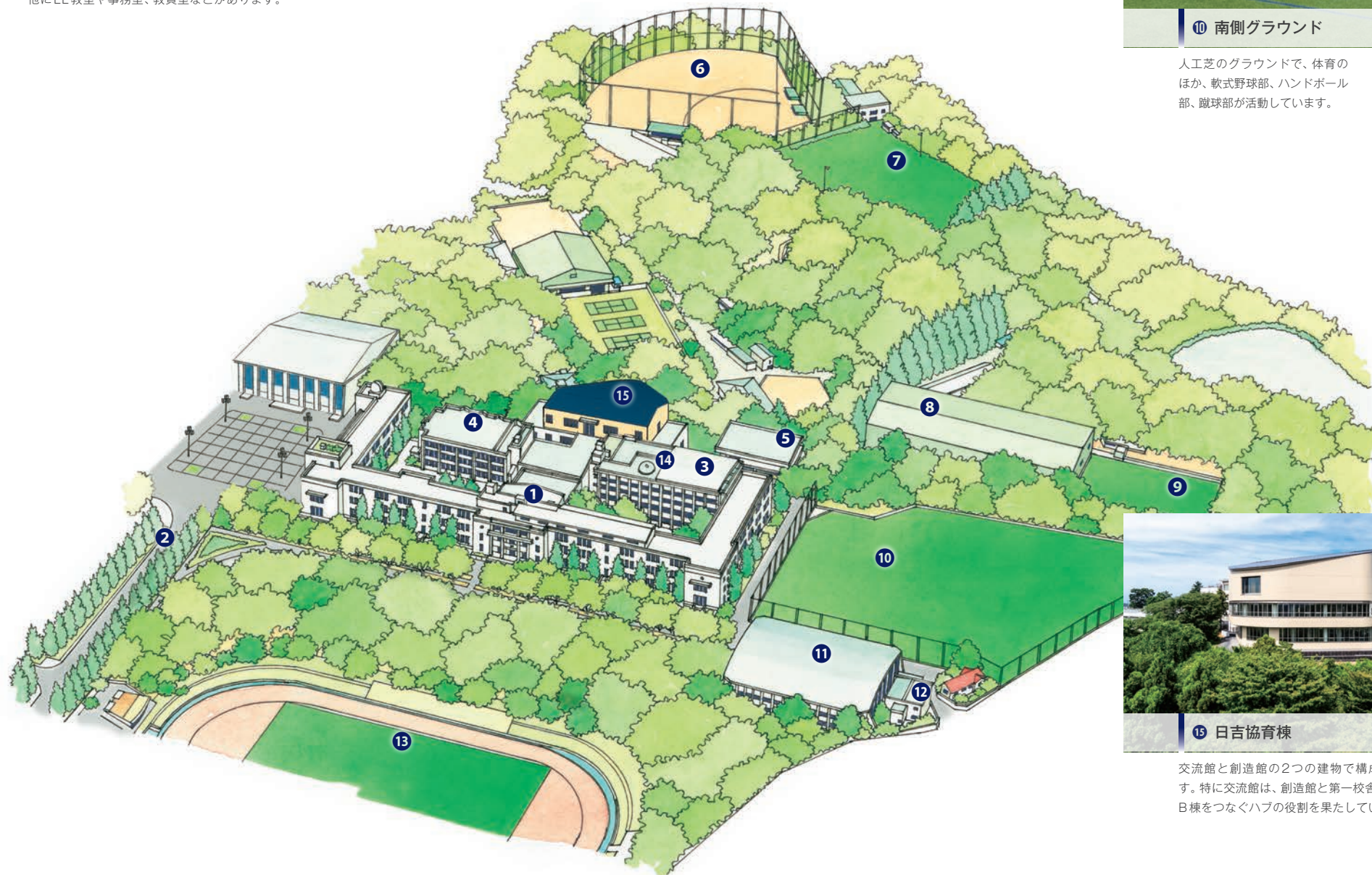


1 第一校舎

2 イチョウ並木

各階に各学年A～R組18クラスのHR教室が配置され、教室にはプロジェクターとスクリーンが完備されています。各階3カ所にウォーターサーバーが設置され、冷水をボトルに補給できます。他にLL教室や事務室、教員室などがあります。

東京近郊で指折りの名所です。300メートル続く見事な並木道は、新緑から黄葉までキャンパスに潤いを与えてくれます。生徒は登下校で毎日この並木道を往来します。



3 特別教室A棟

理科室（生物、化学、物理、地学）、音楽室、家庭科室、コンピュータ教室などがあります。

4 特別教室B棟

地下体育館、美術室（鍛金、木彫、絵画、陶芸）、会議室、コンピュータ教室などがあります。

5 食堂棟

グリーンハウス食堂、自動販売機があります。



6 日吉野球場

野球部が活動しています。



7 アメリカンフットボール場

アメリカンフットボール部が活動しています。



8 蝮谷体育館

体育の授業で使うほか、ハンドボール部、器械体操部などが活動しています。



9 蝮谷多目的コート

校内球技大会や体育の授業で使うほか、バレーボール部Bなどが活動しています。



10 南側グラウンド

人工芝のグラウンドで、体育のほか、軟式野球部、ハンドボール部、蹴球部が活動しています。



11 日吉会堂

講堂兼体育館。入学式・卒業式や保護者会、体育などで使います。



12 柔道場

2年生の柔道の授業で使うほか、柔道部、合気道部が活動しています。



13 陸上競技場

学校行事の校内球技大会や陸上運動会で使うほか、競走部が活動しています。



14 プラネタリウム

特別教室A棟3階にあり、学校説明会や日吉祭で見学が可能です。



15 日吉協育ホール

学校講演会や協育プログラム、音楽系クラブの演奏会などで使います。



16 日吉協育棟

交流館と創造館の2つの建物で構成されています。特に交流館は、創造館と第一校舎およびA棟・B棟をつなぐハブの役割を果たしています。



17 図書室

書籍約13万冊、雑誌約100誌、新聞11紙を所蔵しています。パソコンが置かれたスペースからは蝮谷が一望できます。



18 トレーニングルーム

平日のみならず土日祝日もトレーナーが常駐し、メニューの相談やトレーニングの指導にあたっています。



カリキュラム

Curriculum

文系・理系などのコース設定はありません。3年次には自らの興味・関心や志望進路に合わせて選択科目を履修し、探求を深めることができます。

1 年		2 年	単位数	3 年	単位数
科目	単位	科目	単位	科目	単位
現代の国語	2	古典探究	4	論理国語	4
言語文化	2	歴史総合	3	数学B	2
地理総合	3	数学Ⅱ	4	地学基礎	2
公共	3	物理基礎	3	体育	2
数学Ⅰ	3	化学基礎	3	英語コミュニケーションⅢ	4
数学A	2	体育	3	選択科目	10～14
生物基礎	3	音楽Ⅱ／美術Ⅱ	2	卒業研究	2
体育	2	英語コミュニケーションⅡ	4	将来開発※②	1
保健	2	第2外国語※①	2	HR	1
音楽Ⅰ／美術Ⅰ	2	家庭基礎	2		
英語コミュニケーションⅠ	4	HR	1		
情報Ⅰ	2				
HR	1				
合計	31	合計	31	合計	28～32

※① ドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、中国語Ⅰのいずれか1科目。
※② 入学から卒業までに30ポイント以上の取得が必要。

授業紹介

Classes

高大一貫講座

大学での講義を先取りすることで
学部選択に役立ちます

前期は慶應義塾大学経済学部の教員から経済学を学び、後期は大学校舎で大学生とともに商学部の講義を受けます。一貫教育の強みを生かし、高校時代から一足早く大学教員の講義を学ぶことができます。各学部の雰囲気も感じられ、学部選択の良い材料になります。商学部進学時には講義の取得単位として認定されます。



第2外国語

異文化理解とコミュニケーション能力を
養います

IT化やグローバルゼーションによって世界の人々と簡単につながり、国境を越えた活躍が可能な時代に、英語以外の言語を学ぶことは将来「社会の先導者」となることを目指す生徒にとって必須となります。ドイツ語、フランス語、中国語のいずれか1つを学ぶことで、英語圏以外の多様な文化や価値観を学ぶことができます。



授業時間

Time Table

授業は6時限までですが、木曜日のみ7時限にHRがあります。なお、朝や帰りのHRはありません。

1 時限	8:20 ～ 9:10
2 時限	9:20 ～ 10:10
3 時限	10:30 ～ 11:20
4 時限	11:30 ～ 12:20
昼休み	
5 時限	13:00 ～ 13:50
6 時限	14:00 ～ 14:50
7 時限	15:00 ～ 15:50

国際交流

International Exchange

本校には「一貫教育校派遣留学制度（長期派遣留学）」、「中期派遣留学プログラム（ターム留学）」、「短期交換留学プログラム」の3種類の留学制度があります。長期派遣留学は、一貫校（高校段階）から選抜した生徒を英国や米国の有名ボーディングスクール（寄宿制学校）に約1年間派遣しています。高等学校への学費を納付いただく代わりに、留学先の学費（授業料・寮費を含む）が日本円で給付されます。また、本校独自の制度として中期派遣留学があります。本制度では1・2年次3月から最長6か月間、英国ウェールズに留学することができます。長期派遣留学と中期派遣留学の後は原則的にそのまま進級することが可能です。短期留学は、米国と英国にある提携校と約2週間程度の交換留学を長期休業中に実施しており、ホームステイを通して言語だけでなく現地の文化も学ぶことができます。なお、中期派遣留学及び短期交換留学は、協育基金による「グローバルリーダー奨学金」の支給対象となります。



日吉協育モデル～協育プログラム

2018年の開設70年を機に、「日吉協育モデル／正統と異端の協育」と名付けた新しい教育を実践しています。「協育プログラム」は、高等学校はもちろん、本塾大学の学部・大学院・研究センターや法人・団体あるいは個人（卒業生）の協力のもと、生徒が自らの関心や知的好奇心、能力に応じて技量等を伸ばす機会を提供するものです。カリキュラムの中核をなす必修科目以外の時間、例えば選択科目や卒業研究の時間、さらには放課後や休業期間に課外講座という形で用意される多くのプログラムの中から、生徒自身が自主的に選び、それに参加することで「協育」の実践をはかります。

また、国際交流の拡大や多文化理解の深化、国際感覚の涵養と修得をめざすものとして、海外の提携校との短期交換留学や中期派遣留学プログラムならびに海外から留学生との交流をはかるプログラムも実施しています。2022年度に実施した主なプログラムは、以下の通りです。

■ 高等学校主催によるもの

○ 学校講演会「社会との共生」

■ 大学学部および大学院の協力ならびに研究センターとの連携によるもの

- 理系ノス、メ【大学各学部および各大学院研究科の協力による講座】
- 法学学【法科大学院（ロースクール）の協力による講座】
- 日吉学【教養研究センターとの連携による講座】
- 教養の一貫教育【教養研究センターとの連携による講座】
- 理工学部で数学を学ぶ【理工学部との連携による講座】

■ 高等学校同窓会の協力によるもの

- 将来展望講座「塾高での学び－社会での仕事」
- 「公認会計士」入門講座
- 「OBと語ろう・留学が切り開く人生」

■ 法人（企業）との連携によるもの

- マーケティング実践講座
- “食と健康”講座

■ 生徒によるもの

- 「塾高にもっとアートを」
- 「TedxkeioHighSchool」

■ 短期交換留学・中期派遣留学プログラム

- The Bolles School（米国）
- Christ College Brecon（英国）



年間行事

Academic Calendar

本校では3学期制を取り入れています。校内外で行われる学校行事は、授業や部活動とは異なる体験ができる貴重な機会です。生徒が主体的に取り組み、生徒同士が切磋琢磨することで能力の可能性を広げます。大規模校の本校ならではの行事としては、国内外の多様な特徴を持つコースが用意された選択旅行、陸上競技場をすべて使った陸上運動会、多くの来場者を迎える日吉祭などがあります。

入学式 | 4月

春の息吹あふれる日吉キャンパスで、3年間の塾高生活が始まります。

Topics

選択旅行 | 夏季・春季

国内外の豊富な選択肢を用意した選べる「修学旅行」

夏休み・春休みに実施され、卒業までにいずれかのコースに1回以上参加することになります。気の合う仲間と校外で過ごし様々な活動を通して多くの学びがあることでしょう。

【実施コース例】
台湾、中国（北京）、屋久島、森林ボランティア（丹沢）、四国、沖縄本島、御蔵島、東北・三陸、北海道（道東）、スキー／スノーボード（赤倉）、雪の北陸・飛騨、奈良・京都、Welcome to British Hills（福島）、八重山諸島、スロートラベル山陰・山陽、米国（Los Angeles）、スポーツキャンプ（千葉）

4 April

5 May

6 June

7 July

8 August

9 September

10 October

11 November

12 December

1 January

2 February

3 March



・入学式
・新入生歓迎行事



・1学期中間試験
・早慶戦（東京六大学野球）
・BLS教育
・校内球技大会



・第1回保護者会



・1学期期末試験
・選択旅行（夏季）



・選択旅行（夏季）
・大学模擬講義・模擬ゼミ



・学校講演会



・陸上運動会
・学部説明会
・早慶戦（東京六大学野球）
・日吉祭



・2学期期末試験



・理工学部見学会
・第2回保護者会



・福澤先生誕生記念日
・3年生 3学期期末試験
・入学試験（推薦）



・福澤先生ご命日
・入学試験（一般・帰国生）
・1、2年生 3学期期末試験



・選択旅行（春季）
・卒業式
・新入生ガイダンス



校内球技大会 | 5月

サッカー、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、卓球の5種目で学年ごとにクラス対抗戦を熱く繰り広げます。生徒会を中心に大会運営を生徒が担うのも特色です。クラスの親睦が一気に深まる行事です。

陸上運動会 | 10月

日吉キャンパスが誇る陸上競技場で開催されます。各学年のクラス対抗で様々な種目で競い合い、大いに盛り上がります。そのほか、クラブ対抗リレーは体連・文連別に行われ、多くのクラブがその競技の装いで走る名物競技です。



日吉祭 | 10月

生徒主体で企画・運営する文化祭です。2日間にわたり文化系クラブの活動発表や有志団体の企画を中心に開催します。一般にも公開され、受験生を含む多くの来場者を迎えます。



卒業式 | 3月

3年間の様々な経験を糧に、新たな一歩を踏み出します。



クラブ活動

Club Activities

本校のクラブは、体育団体連盟(体連)・文化団体連盟(文連)併せて80団体あります。体連では野球部、バレーボール部など全国レベルの実力を有するクラブが数多く活躍しています。また、高校としては珍しい、航空部、自動車部、馬術部などもあります。文連では、音楽系クラブの定期演奏会はレベルが高いことで定評があり、また、近年ではディベート部、クイズ研究会、棋道部が大会で良い成績を収めています。秋の日吉祭では一般向けに演奏会や展示を行います。体連・文連各クラブは、大学の各クラブと施設や指導面で連携しながら充実した活動を行っています。

文化団体連盟(文連)

美術部
仏教青年会
文芸部
地学研究会
電子工学研究会
E.S.S.(英語会)
演劇部
フォトフレンズ
福澤研究会
楽友会
ギターアンサンブル
映画部
放送研究会
棋道部

化学研究会
奇術部
マンドリンクラブ
音楽鑑賞会
生物学研究会
書道部
数学研究会
鉄道研究会
ウグネル・ソサイエティー・オーケストラ
漫画研究会
情報科学研究会
ライブラリークラブ
吹奏楽部

クイズ研究会
茶道部
ディベート部

体育団体連盟(体連)

アメリカンフットボール部
バドミントン部
馬術部
バレーボール部
バスケットボール部
ボクシング部
フェンシング部
ゴルフ部
ハンドボール部
ホッケー部
自動車部
柔道部
重量挙げ部
空手部

剣道部
器械体操部(トランポリン)
器械体操部(器械体操)
航空部
競走部
弓術部
ソフトテニス部
軟式野球部
応援指導部
レスリング部
サイクリング部
山岳部
サッカー部(サッカー)
水泳部(水球)

水泳部(競泳)
水泳部(葉山)
水泳部(飛込)
スケート部(スピード)
スケート部(ホッケー)
スケート部(フィギュア)
スキー部
相撲部
蹴球部(ラグビー)
卓球部
端艇部(ボート)
庭球部
野球部
ヨット部

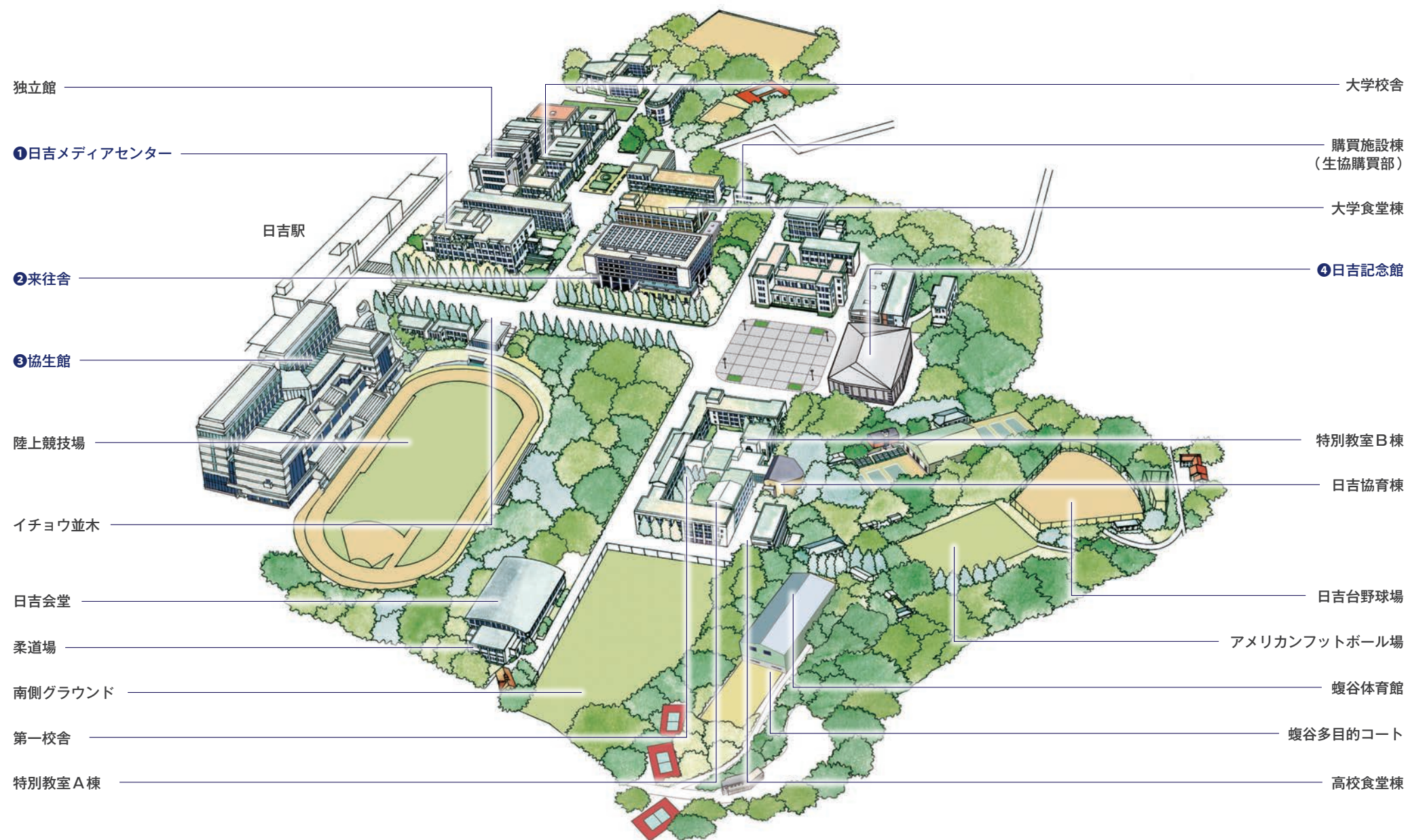
合気道部
射撃部
洋弓部(アーチェリー)
拳法部
ラクロス部
少林寺拳法部
バレーボール部B
バスケットボール部B



慶應義塾大学 日吉キャンパス

Keio University Hiyoshi Campus

東京と横浜のちょうど中間にあたる好立地に日吉キャンパスはあります。日吉台を中心とする43万㎡におよぶ広大なキャンパスは野鳥など自然の宝庫であり、またさまざまな遺跡も存在しています。学生たちはそのような環境で日々の学問に励んでいます。



1 日吉メディアセンター

41万冊を誇る豊富な蔵書で利用者の探求心を満たします。演奏会などイベントも開かれます。高校生は高校図書室にない資料をメディアセンターで探すことができます。



2 来往舎

大学・大学院を横断する研究棟で、研究発表やイベントが行われることもある、外部との交流拠点です。



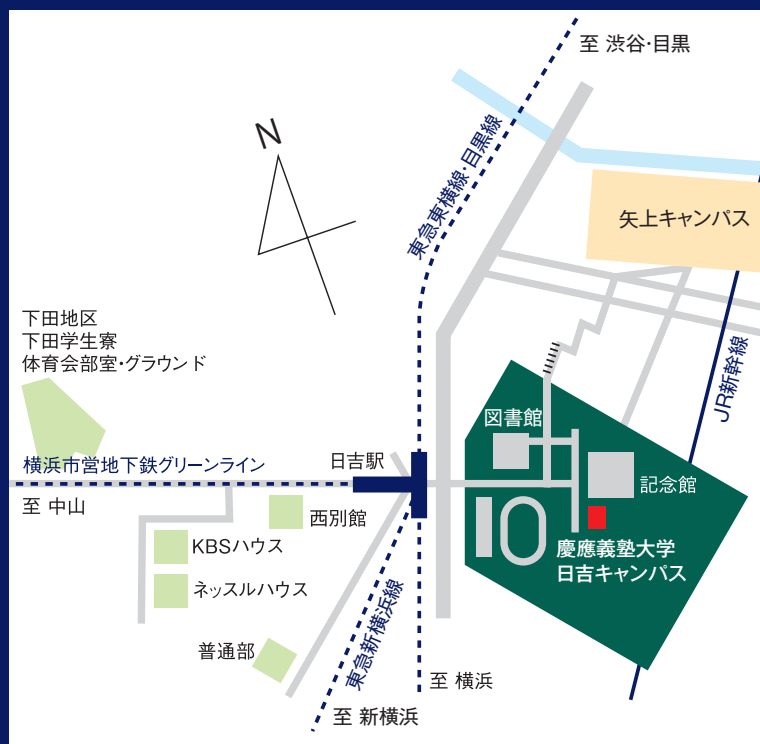
3 協生館

コンサートホール、プール、大学院施設、研修宿泊施設のほか、スポーツクラブ、カフェ、薬局、コンビニ、保育園などが入る、地域に開かれた複合施設です。高校生も日吉祭で音楽系クラブがホールを利用したり、水泳部がプールを利用したりしています。



4 日吉記念館

10,000人収容の大ホール。大学の入学式・卒業式、連合三田会大会などの会場になります。



東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン
「日吉」駅下車（徒歩5分）

※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。

※渋谷～日吉：25分（急行約20分）

※横浜～日吉：20分（急行約15分）

※新横浜～日吉：6分



<https://www.hs.keio.ac.jp/>



慶應義塾高等学校

〒223-8524 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-2

TEL. 045-566-1381（代表）